

# 高校野球の部員減少問題

## ～生徒や親の負担に着目した改善案の提案～

氏名 山賀陽向

近年の高校野球は髪型自由などのかつての堅苦しさが少しずつではあるがなくなってきている。その一方で、根性論などの古臭い考え方を未だに取り入れている高校も一定数ある。このような状況から、高校野球の部員減少問題は少子化問題だけでは片付けられない要因があるのではないかと思い、調査した。

本研究では野球のなかでも高校野球の部員減少問題に着目し、生徒や親の負担に着目した改善案の提案として現役の高校野球部員 63 名と高校野球の指導者 4 名に対して紙面でのアンケート調査を行った。その結果を受け、私なりの改善案を提案するという流れである。

結果として、生徒からは、怪我や学業との両立を心配する声が挙がった。指導者からは、勝つことを期待されるプレッシャーや授業準備との両立が難しいという声が挙がった。保護者に対してはアンケートを実施することができなかった。

この結果を踏まえ、部員減少問題の改善案として、野球を始めやすく触れ合いやすい環境作り、選手の身体を第一に考えた環境作りを提案する。今後は体育の授業で野球を知ってもらうことや野球を楽しめる公園の整備、選手に寄り添った大会運営がなされる世の中になることを期待する。